

豊中・サンマテオ姉妹都市協会

提携ニュース2006



Sister City Affiliation Toyonaka-San Mateo



<http://www.city.toyonaka.osaka.jp/>



<http://www.ci.sanmateo.ca.us/>

豊中・サンマテオ姉妹都市協会
Sister City Association of Toyonaka-San Mateo

サンマテオを訪問しました!!

2005年8月11日～18日にかけて第33回高校生英語弁論大会豊中市長賞の齋藤美樹さんと、サンマテオ市長賞の繁昌和也さんが親善使節としてサンマテオ市を訪問しました。

(二人の感想文「私たちのサンマテオ訪問記」は4・5ページに)



繁昌 和也さん 齋藤 美樹さん

繁昌さん 中学校から英語を学習していますが、「生きた英語」はまた違いました。英語に対する意識というのがかなり変わってきました。そして改めて英語は「言語」なんだと実感しました。自分を誰かに伝えるために、そのコミュニケーションのための英語なんだと感じるようになりました。

齋藤さん 初日は自分が全然しゃべれないことを痛感して落ち込んだりもしました。もっと伝えたい、もっと仲良くなりたい、と。でも言葉は関係なくて自分がどれだけ伝えたいか、という事が大切だと思いました。

旅程

8月11日 大阪国際空港出発、サンマテオ市へ

8月12日 サンマテオ市役所表敬訪問、市内観光

繁昌さん 「サンマテオの少年野球場のある公園には日本庭園があります。日本人の方が随分昔から営んでおられたそうです。

アメリカの文化が日本にたくさん渡ってきているのは感じます。でもそれだけでなく、我々日本人の文化もアメリカに渡っています。互いの文化が刺激しあえばより良いものとなっていでしょう。」

8月13日 少年野球交流試合観戦・バーベキュー



8月14日・15日 ヨセミテ国立公園へ

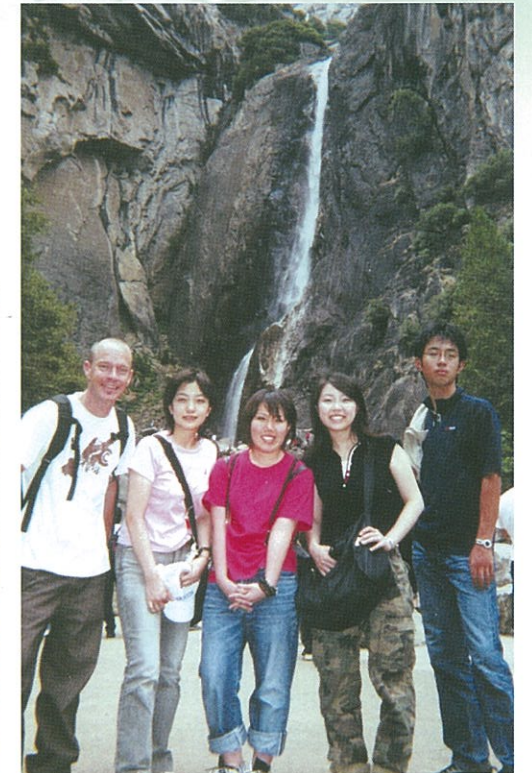
齋藤さん 「ヨセミテではちょっと雨が降ったけれども凄くきれいでした。言葉にならずずっと眺めていたいと思いました。景色に吸い込まれるように眺めていました。滝に鹿にリスに自然がいっぱいでした。こんなに壮大なものは見られない、そう思い心に刻み付けました。」



8月16日 送別夕食会

齋藤さん 「送別会での日本の子どもたちとアメリカの子どもたちが一緒にYMCAを踊ったのは印象的でした。送別会の最後はバンドの生演奏があり、曲にあわせてみんなで踊りました。やっぱり音楽は共通だと思いました。」

8月18日 帰国



ヨセミテ国立公園で!



日本庭園



REPORT

私たちの
サンマテオ訪問記

豊中市長賞受賞

齋藤 美樹さん

正直に言って私は行く前まで不安と期待なら不安の方が大きかったです。しかし、本当に楽しかった。行くとすぐにそんな不安なんてどっかに飛ぶように無くなって、それはすぐに受け入れて仲良くしてくれたからだと思います。初日は自分が全然しゃべれないことを痛感して落ち込んだりもしました。もっと伝えたい、もっと仲良くなりたい、と。でも言葉は関係なくて自分がどれだけ伝えたいか、という事が大切だと思いました。ホストファミリーのキャロラインはとても忙しく働いてすごく元気で明るくて優しく、あの行動力は尊敬できるほどでした。そばにいてまったく飽きなかったです。

サンマテオの図書館やコミュニティセンターの見学はただの観光では行けないので良い経験になりました。サンフランシスコでは路面電車やケーブルバスに乗ったりしました。ヨセミテではちょっと雨が降ったけれども凄くきれいで。言葉にならずずっと眺めていたと思いました。景色に吸い込まれるように眺めていました。滝に鹿にリスに自然がいっぱいでした。こんなに壮大なものは見られない、そう思い心に刻み付けました。

送別会での日本の子どもたちとアメリカの子どもたちが一緒にYMCAを踊ったのは印象的でした。心から面白かったです。その送別会の最後はバンドの生演奏があり、曲にあわせてみんなで踊りました。本当に楽しかったです。やっぱり音楽は共通だと思いました。

一週間なんてあっという間に過ぎていきました。日本に帰ってきてアメリカにいたことが夢だったように思えるくらいに。サンマテオにいたことはわたしの今年の夏、今年一番の思い出になりました。

お世話になった人の優しさが本当に嬉しかったです。ありがとうの気持ちでいっぱい涙がでました。わたしは積極的ではないのですが、積極的に行動したらもっともっと新しい世界が広がっていると感じました。私は大きなものを得たような気がします。もっと自分が知らないことに挑戦してみようと思いました。自分を磨きたいと思いました。また、アメリカの事を良く知りたくなりました。そして、日本のことも。自分の国のことをもっと説明できるようになりたいと思いました。この機会を無駄にせぬようにこれからも国際交流できたらと思います。

最後にサンマテオ・豊中市に、そして出会った人たち全てに感謝します。

サンマテオ市長賞受賞

繁昌和也さん

今回サンマテオへと留学させていただきました。飛行機は三回目、海外は初めてという頼りない条件の中、無事に渡米して還ってこれました。親善使節という役割を果たしてまっとうさせることができるのか、また初めての英語圏の世界に放り出されてやっつけられるのか、といった不安でたくさんでした。そういった不安はアメリカのサンマテオの温かい人々に接してゆくごとに取り除かれていきました。心の広さというのでしょうか、アメリカの広さと比例した、その心を感じました。

僕のホストファミリーは四人家族のマックニールさん一家でした。そのなかでも十二歳のトレバーが最も活発で仲良くなれました。彼はサンマテオ側の少年野球のオールスターチームの一員でした。今年は豊中市の少年野球のチームも同時に派遣といった形だったので、試合観戦をよくしました。また、僕のホストファミリーは夜になるとホームパーティに連れていってくれました。サンマテオ側の少年たちの家に行くということになりました。夕食も豪華で、食べ終わったら皆で喋ったりテレビを見たり、ある時にはプールで遊んだりしました。



こうやって、周囲が百パーセント英語という状況に入り浸り、いつしか慣れていきました。中学校から英語を学習していますが、「生きた英語」はまた違いました。英語に対する意識というものがかかなり変わってきました。そして改めて英語は「言語」なんだと実感しました。自分を誰かに伝えるために、そのコミュニケーションのための英語なんだと感じるようになりました。

今回、このような素晴らしい機会を与えてくださった豊中・サンマテオ姉妹都市協会の皆様に感謝しております。一人でも多くこのような機会にめぐり逢い、素晴らしい体験ができれば、我々の狭い考え方も変わるかもしれません。次の年もまた新しい親善使節が選ばれることでしょうか。こういった素晴らしい機会というのはいつまでもあってほしいものです。我々を世界に繋ぐ第一歩となるのですから。

サンマテオの少年野球のある公園には日本庭園がありました。日本人の方が随分昔から営んでおられたそうです。アメリカの文化が日本にたくさん渡ってきているのは感じます。でもそれだけでなく、我々日本人の文化もアメリカに渡っています。互いの文化が刺激しあえばより良いものとなっていくでしょう。

この豊中市とサンマテオの交流はいつまでも続いてほしいと思います。

BASEBALL

少年野球チームサンマテオへ遠征!!

2005年8月8日から18日まで、豊中市少年野球連盟（会長北野信義さん）の少年野球チーム一行がサンマテオ市を訪問し、親善交流試合を行いました。

1979年から両市の野球チームの相互訪問が始まって以来、豊中市のチームのサンマテオ市訪問は7回目となります。今回訪れたのは豊中市内の各少年野球チームから選抜された小学校6年生16名。初めての異国の地での試合に選手の皆さんは期待と不安で胸がいっぱいだったと思いますが、立派に親善交流を果たし笑顔で元気に帰国しました！



全5試合が行われ、両チームのプレーヤーたちは熱い戦いを繰り広げました。試合期間中、球場の観覧席は大勢の市民で埋まり、熱心に試合展開を見守っていました。白熱した好ゲームには両市のプレーヤーに盛んな拍手や声援が送られました。



吉田 真大君の作文より

「その日の夜お別れパーティがあった。サンマテオの協会の会長がぼくのことをほめてくれた。うれしかったし、大勢の中にでたからちょっと緊張した。」

鎌中 貴大君

「第1戦は先発ピッチャーに決まりました。僕は野球の本場のアメリカのチームと戦えることを楽しみにしていたので、わくわくしていました。体の大きい人が多かったので、自分の持っている最大の力をぶつけようと思いました。」

児玉 洋樹君

4日目、4回までは0-1で負けていました。でも5回の表、僕がカウント1-1からセンターにフェンスごえのソロホームランを打ちました。打った瞬間、球場が狭いから入ると思いました。



《試合結果》

8月12日 第1試合 豊中 サンマテオ 1 - 1	8月13日 第2試合 豊中 サンマテオ 3 - 1
8月14日 第3試合 豊中 サンマテオ 6 - 12	8月15日 第4試合 豊中 サンマテオ 8 - 1
8月16日 第5試合 豊中 サンマテオ 5 - 5	■総合試合結果 豊中 2勝2分 サンマテオ 1勝2分

RESULT

第34回高校生英語弁論大会

ANNUAL ENGLISH SPEECH CONTEST



2006年1月28日、豊中・サンマテオ姉妹都市協会主催の第34回高校生英語弁論大会が、とよなか国際交流センターで開催され、7校15名の高校生の皆さんが参加しました。

豊中市長賞

サンマテオ市長賞

国際ソロプチミスト特別賞

優秀賞

優秀賞

審査員特別賞



八島 在紗さん
神戸女学院高等学部1年



本村 らん子さん
梅花高等学校1年



別府 寛子さん
神戸女学院高等学部1年



吉村 恵美さん
豊中高等学校1年



脇谷 良子さん
豊中高等学校1年



降矢 香織さん
豊中高等学校1年

(学年は大会当時のものです。)

※今年度は国際ソロプチミスト豊中-千里より寄付金をいただき、国際ソロプチミスト特別賞を設けました。

豊中市長賞の八島さんは、「消極的な私から積極的な私に」という題で、自らの経験を通して積極的な気持ちで努力し続け自分自身を変えていく素晴らしさを訴えました。サンマテオ市長賞の本村さんは「こどもの安全」と題し、子どもの安全を始めとする地域の様々な問題に、地域社会がひとつになって対処していくことの大切さを論じました。

審査員は千里金蘭大学教授のジュディ・ガーナントさん、金蘭短期大学名誉教授のデビッド・ポールドウィンさん、大阪女学院短期大学助教授のウィリアム・クラインさん、当協会常任理事の川合隆子さんの4人にお願しました。

弁論終了後、審査員からどの発表者もスピーチの内容、発音がすばらしく、点数も僅差だったという講評があり、緊張のうちにも和やかな雰囲気の中、弁論大会を終えることができました。

なお、豊中市長賞受賞の八島さん、サンマテオ市長賞受賞の本村さんは、今年の7月下旬に親善使節としてサンマテオ市に派遣される予定です。

提携ニュース2006 NEWS

■ 新市長はジョン・リーさん

2005年12月5日にサンマテオ市議会の改選があり、新市長はジョン・リーさんに決定しました。新しい人事は以下のとおりです。



ジョン・リー市長

■ 市長：ジョン・リー	JOHN LEE
■ 副市長：ジャック・マシュー	JACK MATTHEWS
■ 議員：ジャン・エプスタイン	JAN EPSTEIN
■ 議員：キャロル・グルーム	CAROLE GROOM
■ 議員：ブランド・グロット	BRANDT GROTT



San Mateo City

